



八峰町の宝物 ～ハタハタと白神山地～

もうすぐハタハタの季節です。この広報が皆さんのお手元に届く頃には、もうハタハタが接岸しているかもしれません。今回は八峰町の二つの宝である、ハタハタと白神山地の関係についてお話ししたいと思います。白神山地からお話を始めましょう。

白神山地はご存知の通り高く険しい山です。では、白神山地はなぜ高いのでしょうか？

その理由の一つ目は、白神山地がゆつくりと盛り上がっているためです。これについては、広報の9月号でも解説しました。盛り上がりの早さは、とてもゆつくりで一年間に1ミリくらいと言われています。一年間に1ミリとはずいぶん少ないように思えます。でも、白神山地の盛り上がりは長い間ずっと続いているのです。もし、一年間に1ミリの盛り上がりが十年続くと1センチメートル、百年続くと10センチメートル、百万年続くと1000メートルになります。一年間に1ミリとはいえ百万年も続くと白神山地くらいの高さには簡単になるのです。

もう一つ、白神山地が高い理由があります。それは白神山地にはとても頑丈な岩石があるということです。せっかく山が盛り上がりつつも、柔らかい石では雨や川の作用で削られてしまい高い山になることはできません。八峰町の海岸では白神山地の中と同じ地層を見ることが出来ます。石を割ってみるとよくわかりますが、とても固いんですね。このような固い岩でできているために白神山地は、削られる力に抵抗して高くなることのできたのです。

では、なぜハタハタは八峰町にやってくるのでしょうか？ その理由を私はこう考えています。白神山地が

盛り上がることによって、米代川は白神山地から遠いところを流れることになりました。米代川からは大量の土砂が流れ出してきましたが、この土砂は八峰町の北部沿岸には届きません。すると、白神山地のふもとには岩だらけの海岸ができてきます。岩だらけの海岸には、ハタハタが産卵するホンダワラ類が生えます。このような海岸に向けてハタハタがやってくるようになります。ハタハタは白神山地にひかれてやってくるというわけです。

ところで、これは単なる偶然の話ですが、「白神」の「白」の上の点を「ク」に換えて、「白」の中に縦棒を一本加えます。次に「白」の下に4つの点を打ちます。すると不思議なことに「鱒」という漢字になるではありませんか。

まあ、偶然なんですけど、ジオパークにきたお客さんに披露する小話として使えるのではないのでしょうか。

秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎

しら
かみ
白神魚 神神 鱒神
はたはた

八峰白神ジオパーク推進協議会

秋田県山本郡八峰町

峰浜田中野田沢20-1 峰栄館2階

TEL 0185-70-3881